15.2.3 使用可能デバイス

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	備考	
パラメータ（FREQROL-S500、E500のPr.37以外）	000000～99315	0000～0993	*1	*3
パラメータ（FREQROL-S500、E500のPr.37のみ）	P003700～P003731	P0037	*2*4	H/L
運転モード	OPE000～OPE015	OPE0		*3
出力周波数[回転数]	OUTF000～OUTF015	OUTF0	*5	H/L
出力電流	OUTC000～OUTC015	OUTC0	*5	
出力電圧	OUTV000～OUTV015	OUTV0	*5	
特殊モニタ	SPM000～SPM015	SPM0	*5	
特殊モニタ選択No.	SSEL000～SSEL015	SSEL0		
出力周波数	SOF000～SOF015	SOF0	*5	
出力電流	SOC000～SOC015	SOC0	*5	
出力電圧	SOV000～SOV015	SOV0	*5	
周波数設定値	FSET000～FSET015	FSET0	*5	
運転速度	RUNS000～RUNS015	RUNS0	*5	
モータトルク	MOT000～MOT015	MOT0	*5	
回生ブレーキ	RBRK000～RBRK015	RBRK0	*5	
電子サーマル負荷率	ELOF000～ELOF015	ELOF0	*5	
出力電流ピーク値	OCPV000～OCPV015	OCPV0	*5	
コンバータ出力 電圧ピーク値	COPK000～COPK015	COPK0	*5	
入力電力	IPOW000～IPOW015	IPOW0	*5	
出力電力	OPOW000～OPOW015	OPOW0	*5	
異常内容（最新No.1,No.2）	A12D000～A12D015	A12D0	*5	H/L
異常内容（最新No.3,No.4）	A34D000～A34D015	A34D0	*5	
異常内容（最新No.5,No.6）	A56D000～A56D015	A56D0	*5	
異常内容（最新No.7,No.8）	A78D000～A78D015	A78D0	*5	
運転指令	RUNC000～RUNC015	RUNC0	*6	
インバータステータスモニタ	INVS000～INVS015	INVS0	*5	
運転周波数書込（E2PROM）	RWRT000～RWRT015	RWRT0	*6	
設定周波数書込（RAMおよびE2PROM）	SFWE000～SFWE015	SFWE0	*6	
設定周波数書込（RAMのみ）	SFWR000～SFWR015	SFWR0	*6	
設定周波数読出（E2PROM）	SFRE000～SFRE015	SFRE0	*5	
設定周波数読出（RAM）	SFRR000～SFRR015	SFRR0	*5	
異常内容一括クリア	ERCL000～ERCL015	ERCL0	*6*7	
インバータリセット	RSET000～RSET015	RSET0	*6*7	
パラメータオールクリア	ALLC000～ALLC015	ALLC0	*6*7	
ユーザークリア	ALLC000～ALLC015	ALLC0	*6*7	
リンクパラメータ拡張設定	LNKP000～LNKP015	LNKP0		
第2パラメータ切換	SECP000～SECP015	SECP0		

***1 パラメータの詳細については、三菱汎用インバータ各機種の取扱説明書を参照してください。**
***2 FREQROL-S500、E500 のパラメータ 37 は、デバイス " P0037 " を指定してください。**
***3 このデバイスは32ビットデータとしての使用不可。**
***4 このデバイスは32ビットデバイスです。**
***5 書込み不可です。書込みを行った場合、GP/GLC/LT 上に上位通信エラー(02：F0)が表示されます。**
***6 読出し不可です。読み出しを行った場合、GP/GLC/LT 上に上位通信エラー(02：F0)が表示されます。**
***7 書込みデータについては、三菱汎用インバータ各機種の取扱説明書を参照してください。(例：ユーザークリア H9669)**

重要 ・ 前項の「使用可能デバイス」とインバータの取扱説明書に記載されているデータコード/設定項目の対応を以下に示します。

【パラメータ読出／書込】

アドレス

機能	パラメータ番号	名称	データコード		
			読出	書込	ﾘﾝｸﾊﾟﾗﾒｰﾀ拡張設定値（ﾃﾞｰﾀｺｰﾄﾞ7F/FF）
基本機能	0	ﾄﾙｸﾌﾞｰｽﾄ	00	80	0
	1	上限周波数	01	81	0
	2	下限周波数	02	82	0
	3	基底周波数	03	83	0

⋮

【パラメータ以外のデバイス】

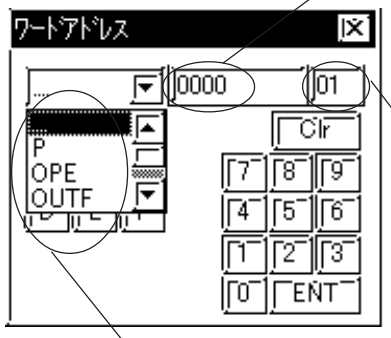
使用可能なデバイス一覧より該当するデバイスを選択

No.	項目		命令コード	データ内容	データ桁数
1	運転モード	読出	H7B	H0000:通信オプション運転 H0001:外部運転 H0002:通信運転（PUコネクタ）	4桁
		書込	HFB	H0000:通信オプション運転 H0001:外部運転 H0002:通信運転（PUコネクタ）	
2	モニタ	出力周波数[回転数]	H6F	H0000～HFFFF:出力周波数（16進） 単位0.01Hz	4桁

⋮

・ デバイス入力方法

GP画面作成ソフトでのデバイスアドレス入力方法は以下の通りです。



アドレス
パラメータはパラメータ番号
Pデバイスは“0037”に固定
それ以外の場合には0固定

インバータの号機番号

デバイス
パラメータ読出/書込の場合には“…”もしくは“P”を選択

重要

- パラメータの種類により以下の表に示すような“9999”(パラメータの設定無効等を意味する)等を入力する場合があります。この場合、GP/GLC/LTからの書込データは及び読込みデータは以下のようになります。

No.	インバータ機種	インバータ設定値	書込みデータ	読出しデータ
1	FR-S500以外	9999	-1 (0xFFFF)	-1 (0xFFFF)
2		8888	-16 (0xFFF0)	-16 (0xFFF0)
3	FR-S500	―― ―― ――	-1 (0xFFFF)	-1 (0xFFFF)
4		888	-16 (0xFFF0)	-16 (0xFFF0)

- GP/GLC/LTのシステムエリア（20ワード）は使用できません。また、GP/GLC/LTオフライン、作画ソフトでのシステムエリアの選択画面では、見かけ上はシステムエリアを使用出来るプロトコルと全く同じ表示、動作となります。但し、システムエリアを選択しても、常にシステムエリア非選択の状態となります。